2015年5月号「vol.59」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

民間に移譲し総合病院として継続
神奈川県立汐見台病院、来春から

1963年に横浜市磯子区の汐見台団地に診療所として開設され、その後、総合病院として地域医療を担ってきた神奈川県立汐見台病院について、県は「県立病院は本来、民間病院や一般の市立病院で対応できない高度専門医療に特化したものであるべき」との趣旨を踏まえ、2011年からその役割や今後の在り方の検討を重ねてきましたが、昨年12月の県議会定例会で「総合病院として継続するなどを条件に民間に移譲し、来年4月から新体制の下での運営を開始する」と表明。民間に移譲するための募集要項の配布を4月から始め（6月15日まで）、5月中旬ごろには現地説明会を開くなど、準備作業に入りました。

同病院は15診療科目、入院ベット数250床を有する磯子区では数少ない総合病院。汐見台近辺や周辺の区の住民など年間延べ約21万人が利用しています。病院経営は赤字ではありませんが、毎年、県から7億円の交付金を受けています。今後どんな形の病院にしていくかについて、汐見台病院在り方検討委員会では2012年5月の報告で、産科、小児科等を主とした病院に再編するか、総合病院の機能を継続していくため新たな総合病院を誘致していくことを含め検討していく必要があることをうたっています。これを受けて、汐見台自治会連合会から8月に「総合病院として存続して欲しい」との要望書が出されるなどしたことから、県ではこれを踏まえ、民間に移譲のうえ総合病院として存続してもらうことを決めたものです。

移譲の条件としては病床数、診療科目、年間の分娩回数、救急医療などについて現状と変わらない水準で維持することなどを定めていますが、利用者の「撤退」についての不安に対処するため、条件の中に「最低10年間は続けること」の一項も盛られています。またしっかりした目で新たな運営者を選ぶため、3月末には専門家や地域住民代表ら8人で構成する選定委員会も発足させたとのことです。

準備作業は7月に選定委員会が応募者のプレゼンテーションを開いて移譲予定者の選定を行い、これを踏まえて県は移譲先を決定。9月には県と予定者の間で協定を締結するスケジュールが組まれています。

コレが言いたい！

民間に移譲するに当たっては、所属していた厚生常任委員会で、「地域住民を選定委員会に入れること」「移譲後、地域連絡会を設置すること」「急な撤退を禁ずること」などを要望し、公募条件に反映されました。今後も汐見台病院が地域医療を担う総合病院としての機能を継続していく様、地域の皆さんと意見交換を行いながら移譲に向けての不安解消に努めてまいります。

今月のひと言

5月は自転車マナーアップ強化月間です。自転車安全利用五則（①自転車は車道が原則、歩道は例外　②車道は左側を通行 ③歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行 ④安全ルールを守る ⑤子どもはヘルメットを着用）を守りましょう。

磯子 あれ？これ？

「日本初の国産石けん」生みの親は磯子区生まれ

今私たちが日常使っている石けん。昔の日本では植物の実や灰汁などを使って汚れを落としていました。日本に初めて石けんが入ってきたのは16世紀、ポルトガル船から伝わりましたが、当時は洗浄用としてではなく、薬用として用いられました。その後、横浜で日米和親条約が結ばれ、開国へ歩むと海外から石けんが持ち込まれるようになりましたが、高価なもので外国人や一部のお金持ちしか使えませんでした。横須賀製鉄所の建設に携わっていた、磯子村の村役人を務める旧家の出身「堤磯右衛門」は、同じ仕事場のフランス人技師が石けんを使うのを見てその効用を知り、自ら石けんを作る決心をしました。しかしいざ開発に入ると製造に苦心しました。堤磯右衛門石けん製造所跡に残されている碑文によると、堤磯右衛門は、明治6（1873）年3月、横浜・三吉町4丁目（現：南区万世町2丁目25番地付近）で日本最初の石けん製造所を創業、同年7月洗濯石けん、翌明治7年には化粧石けんの製造に成功しました。その後、香港・上海へも輸出され、明治10年代の前半に石けん製造事業は最盛期を迎えました。

活動報告

4月3日～4月11日	統一地方選挙
4月15日	当選証書授与式/堀割川魅力づくり実行委員会
4月16日	団会議
4月17日	南法人会幹事会
4月20日	県政報告会
4月21日	自衛隊募集相談員委嘱式
4月23日	県政報告会/磯子火災予防協会
4月24日	横浜遊技場組合総会
4月26日	隊友会横浜南支部総会
4月28日	団会議/根岸橋商店街昔遊び実行委員会
4月30日	団会議

当選証書授与式

あらい絹世プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成23年4月　県議会議員初当選
- ●厚生常任委員

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451